

協力

78



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
<http://dendankyo.jimdo.com>

FRONT ESSAY

仲間よ、集まるころ



伝道団体連絡協議会
会長
姫井雅夫
(総動員伝道)

政治の世界も多くの政党が乱立している。それぞれが好き勝手なことを言っているような風潮を感じる。日本国民のために、世界の平和のために、志をもって政界に立候補し、国民によって選ばれ、国会に入って来られたはず。でも一旦国会議員になったら、無暗に過激なことを言い出したり、権力を持っているのだぞと言わんばかりの言動をする。ますます分裂して行く。

キリスト教界は政界とは違ってほしい。政党があるのはそれぞれの考えや立場があるからで、当然のことだ。でも協議をし、話し合い、国民と世界のために一致点を模索し、志を一つにすることができないだろうか。キリスト教界も神学が違っていたり、教派の異なることは当たり前だが、伝道・宣教・救霊のために一つになることは、やはり難しいのだろうか。

伝道団体は、伝道・宣教・救霊のための手段の違いを持っている。印刷物を用いる、電波を用いる、子どもが対象、学生が対象、ビジネスマンが対象、国外が対象、国内が対象、趣味を活用、スポーツを活用などなど。でもそれぞれが伝道・宣教・救霊のために心を一にし、祈り合い、情報を共有し合うことができている。まだ伝道団体連絡協議会に加盟して下さっていない多くの団体がある。それらの団体も仲間に加わって下さって、日本と世界のために志を一つにしたい。

「収穫は多いが働き手が少ない」と主は言われた。総動員伝道ではファミリー・フォーラム・ジャパンと協力して「Walk with Jesus (イエスと共に歩いて伝道)」を展開している。ある山に囲まれた田舎の道を歩いていた。冷たいアイスキャンディをと小さな店に入った。私たちのことを聞いて、「私が子どもの頃は教会学校が、クリスチャンのご家庭でもたれていたのですよ。この付近の子どもたちはみんな出かけました。今でも賛美歌を覚えています。でもそのご一家が引っ越されてからは集まりが無くなりました。もう何十年前でしたかね」と話しかけてくださった。ここにも福音の種を蒔いて下さった方がいたのだ。その後、それを育てる人がこの村に来ていない。トラクトを手渡し、「この村に働き手を送ってください」と祈って、その村を後にした。

以前からテレビ・ラジオで福音放送が流されてきたが、早朝だったりで多くの人に届いているというわけではなかったかもしれない。でも今はインターネットで、いつでも、どこでも福音に触れることはできる。問題は知りたいと思うかどうかだ。やはり個人的な接触が鍵かもしれない。すべてのクリスチャンが整えられて、福音をあかししよう、地の塩、世界の光としての使命を果たさせていただこうと思うかどうかだ。

伝道団体は、教会と協働してこの使命に励みたいと願っている。

伝道団体連絡協議会 第29回総会のご報告

2012年4月26日(金)午後3時より5時まで、
お茶の水クリスチャン・センター 415号室で
「伝道団体連絡協議会 第29回総会」が開催
されました。

■第一部 礼拝

新聖歌 397 「神の御子にますイエス」

奨励 姫井会長 マタイによる福音書 20章 28節 「伝道団体は仕える団体」

■第二部 総会

議長 姫井会長が書記に聖書協会の加藤兄を指名。加藤兄が出席を確認。

出席団体：クリスチャン文書伝道団、こころの友伝道全国連合会、新生宣教団、
総動員伝道、太平洋放送協会、小さないのちを守る会、日本国際飢餓対策機構、
日本聖書協会（8団体）

※点呼により、出席団体8、委任状7、計15で、加盟28団体の三分の一以上
に達し、総会の定足数を満たしていることが確認された。

議事1

2012年度の活動報告、会計報告、会計監査報告がされ、承認されました。

議事2

役員改選

会長 姫井（総動員伝道） 書記 加藤（聖書協会） 会計 中野（CLC）

イベント担当 田村（FHIJ）と赤松（新生宣教団） 広報担当 東（PBA）

役員だったYWAMとCSJは継続が困難のようなので、降りていただいた。

議事3

2013年度の活動計画案に基づき協議・承認

議事4

2013年度予算案決議。

議事5

その他

- ・今年イベントに関して様々なアイデアが出されているが、何よりも教会に仕える姿勢からの発想が大切であることが確認された。それを踏まえて今後なにができるのかを検討していく。
- ・加盟団体相互の協力体制づくりや加盟団体を増やして行くことを話し合った。

ご挨拶

以前より伝道協会の働きは知っておりましたが、このようにご挨拶するとは思いませんでした。協力団体リストを見ると、本当に多くの団体が日本宣教を考えながら様々な分野で活躍していることが分かります。教会とは異なるアプローチで福音を伝えることはとても大切な働きだと思います。そしてそのような団体が協力して福音宣教をするならば、大きな恵みも伴ってくると信じます。働きを知ってもらうのではなく、福音を伝え続ける伝道協として、日本の教会に、日本人に仕えていけたらと願います。そして共に主のみ業を現すことができれば幸いです。



新生宣教団 赤松 清

伝団協 加盟団体の紹介

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

<http://www.harvesttime.tv/>

■大衆伝道から弟子訓練へ

ハーベスト・タイム・ミニストリーズは、視聴者の皆様に支えられ、テレビ番組「ハーベスト・タイム」を通して24年間、聖書の福音を語ってきました。現在は、テレビ伝道という大衆伝道から、聖書の解き明かしを中心にした弟子訓練へと活動の場を移しています。

■現在の活動

1. ハーベストフォーラム東京定例会

弟子訓練プログラムの一環として、毎週日曜、月曜に東京の恵比寿で定例会を開いています。この定例会では、「聖書を解き明かす」ということを第一にメッセージを語っています（講解説教と言います）。また、大阪でも月に一度の月例会を開いています。

2. メッセージステーション

東京定例会、大阪月例会で語られたメッセージはすべて、インターネット上で無料配信されています

〒410-1115
静岡県裾野市千福が丘1-21-85
TEL:(055) 993-8880 FAX:(055) 993-8883
代表:中川健一

(<http://www.harvesttime.tv/>)。毎月5万件近いダウンロード数があります。

3. ハーベスト聖書塾

次世代のリーダー育成のために聖書塾を開講しています。その特徴は、ヘブル的視点で聖書を体系的に学ぶことです。(1) 最初の4カ月の入門コースでは、月に1回のスクーリングで学びます。(2) 次は2年間の通信講座に入ります。合計48課を2年で学びます。

4. ユダヤ人伝道、海外宣教

ハーベスト・タイムは、ユダヤ人伝道に特別な重荷を与えられています。また、ハーベストUSAを設立し、米国内の日系人に伝道するために活動しています。

5. 聖会・セミナー

毎年春の再臨待望聖会(3月)、フルクテンバウムセミナー(4、5月)など、各種の聖会・セミナーを開催しています。過去のセミナーはDVD/CDとして販売しています。

伝団協 加盟団体の紹介

(有)パラビジョン

<http://www.jin.ne.jp/pvsc/>

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川1127-2
Tel. 04-2959-1216 Fax. 04-2950-3588
代表:竹内 恵

<沿革と理念>

弊社は、10年前の2002年10月に創立者・柳沢清兄が御許に召され、翌年5月にわたくし竹内が復職し代表代行となり、その後、登記手続きを経て正式に代表となり現在に至ります。本年(2013年)10月31日で創立満30年となります。主の御憐れみと皆様のご加禱に支えられての歩みと深く感謝します。プロテスタント・福音派教会の宣教の業に、視覚技術を用いて仕えることを志し、またクリスチャンビジネスにより世に宣証することを理念として創業し、励んで来ました。

<クリスチャンビジネスの実践>

この30年間には、バブル期とバブル崩壊、その後の長い景気低迷期があり、経営の困難を覚えることばかりでしたが、先代・柳沢兄は一貫して、献金を受けず、収入は一般企業と同じく事業収益のみによる経営方針を守りました。このため、伝道団体でありながら会社＝営利企業であるとして、誤解されることも多くありましたが、信徒の自発的な事業体である弊社が献金を受けるのは相応しくないとこの姿勢を堅持しました。

そして、多くの教会や伝道団体と協力し、映像ソフト・カセット

・CDを制作し、音響映像設備の企画設計施工をいたしました。さらに各種イベントでの音響映像業務の運営にも参加いたしました。近年は、銀座教会聖歌隊の讃美歌CDや東京バツハ合唱団のバツハ作品日本語演奏CDの制作技術を担当し、多くの方々にみことばの歌をお届けする働きの一端を担わせていただいています。

<地域活性化と地域宣教の課題>

先代亡きあとのこの10年間は、拠点を置く埼玉県狭山市をベースに、地元の狭山ケーブルテレビの実質の子会社として地域情報番組の制作にも携っています。またこの数年は、当地の武蔵野学院大学から客員研究員として委嘱を受け、メディアによる地域活性化や学園市民の情報発信をテーマとする研究活動を行っています。これらは一見、教会の宣教とは無関係と見えるのですが、高齢社会と地域の諸課題はそのまま、教会の地域宣教の課題であり、地域メディアの利活用も含め、今後の地域伝道実践にもこの分野の研究が必要と考え、細々ではありますが学びを進めています。

今後ご加禱いただければこれに過ぎる幸いはいけません。皆様の上に主の豊かな祝福を祈ります。



NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

■アジア アクセス

- ◇アジアアクセス・JCGIネットワークのために
- ・関東地区（2年目）、西日本東海地区（4月開始）での牧師研修のために。
- ・開拓伝道のために相互に励ましあう各ネットワーク（南関東、茨城ミラクル、沖縄）のために。
- ・被災地の物心両面での支援に仕える宮城宣教ネットワークのために。

■いのちのこぼれ

5月20日、お茶の水クリスチャン・センター5Fで、t(ティ)ギャラリーがオープンします。クリスチャン・アーティストが出品する展覧会を通して創造とみわざを賛美する、十字架の意味を伝えていく場所として用いられるように。

■教会インフォメーションサービス

- 1、今年の年次教会集計の準備が始まりました。多くの教団、グループから応答が来て、正しい集計をすることができるように。
- 2、ホームページが用いられて、新しい方が教会に行くために問い合わせが多く来るように。
- 3、経済的な必要が豊かに満たされるように。

■近畿福音放送伝道協力会

近放伝は今年創立40周年を迎えております。10月11日（金）～13日（日）に40周年記念大会を開催します。40年の間続けられてきたことを「感謝・賛美と美りのあかし」をテーマに集会をもち、そして「伝道大会」を開きます。この大会に多くの方々の参加者が与えられ、伝道が祝福されるようにお祈り下さい。（メッセージ：村上宣道師、音楽ゲスト：ソン・ソルナムさん、森祐理さん）

■高校生聖書伝道協会（hi-b.a.）

日本全国の高校生に福音を届けるべく、新たなビジョンをもって進み始めています。主の御旨に従いつつ歩めるように、また働きに必要なすべてが与えられるようにお祈りください。

■こころの友伝道全国連合会

第60回記念全国大会が、8月26日から28日まで、横浜で開催されます。特別講師は守部喜雅氏。大会のテーマは「友になる喜びに溢れて」。宿泊参加者100名と与えられ、福音宣教に押し出されますように。

■新生宣教団

- 1、東北心の支援としての文書記布 HOPE for LIVING Family の制作が進んでいることを感謝します。多くのノンクリスチャンに神様のことを知ってもらうため、教会や地域の方々と協力しています。現地の先生方の健康が支えられますように。
- 2、今も迫害下にある兄弟姉妹たちのために、生活が支えられ、信仰の歩みも守られますように。必要なこぼれが届けられますように。
- 3、在日中国人伝道が活発にされています。日本にいる中国人の方たちがキリストを知り教会につながるように。

■全日本リバイバルミッション

- ・和歌山リバイバルミッション [8月23日（金）～24日（土）] 祝福のために。
- ・6月8日（土）～23日（日）まで行われる和歌山県下の各教会での伝道会が祝福されるように。
- ・アジア・環太平洋リバイバルミッション「タイ国チェンマイ大会」来年2月13日（木）～16日（日）の祝福のために。その大会の決起大会や準備の祝福のために。

■総動員伝道

- 1、必要経費が満たされるように。
- 2、8月のトラクト配布伝道 三重県伊勢市・度会郡 奉仕者が与えられるように。届けられるトラクトを通して心を主に向けてくださる方が与えられるように。
- 3、Walk with Jesus 北国街道 9月9日、高岡から後半の歩きを始めます。
- 4、信徒伝道講習会を日本キリスト伝道会とコラボで開催しようと準備中。
- 5、スポーツ伝道の窓口をいろいろな団体と1つにしようという相談会が本郷台キリスト教会で持たれます。主の導きがあるように。

■太平洋放送協会（PBA）

- ・ラジオ「世の光」、テレビ「ライフ・ライン」が用いられ、教会につながる人が起こされるように。
- ・PBAは通常の放送伝道事業に加え、東日本大震災被災地の放送伝道協力会への支援事業にも取り組んでまいりました。日本の宣教の前進のために、続けて働きを行うことができますよう、お祈りください。
- ・なお、PBA発行のCD付きリーフレット「なぐさめの詩（うた）」が大好評で、早くも増刷になりました。またこの4月には、「世の光」「ライフ・ライン」パイブルメッセージ集『愛があなたを新しくする』も発行されました。伝道のために用いられますように。

■日本国際飢餓対策機構

- ①ニジェールへの緊急援助のために。現在、農閑期の干ばつで80万人が食糧不足、内8万人は緊急支援が必要。日本の教会から十分に支援が届けられるように。
- ②コンゴに派遣の、カセバ・ジェロームスタッフのために。この6月より、今後駐在スタッフとして派遣します。現地では、教会と共に地域の、また国の必要に応える全人宣教のコーディネーターとして働きます。その準備のために。

■日本聖書協会

- ・7月6日に行われる聖書と音楽の出会い・北九州の集いが祝されますように。
- ・聖書の新翻訳事業が祝されますように。
- ・耳の不自由な方のための「手話訳聖書DVD」が一日も早く全巻完成され、用いられますように。

■ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

- ・中川健一メッセージCDを大幅に値下げしました。宣教のために用いられますようにお祈りください。
- ・インターネット伝道のためのサイトを構築中です。日本人の救いのために広く用いられるものとなりますようにお祈りください。

『協力』78号

発行日：2013年5月31日

発行所：伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 <http://dendankyo.jimdo.com>

発行者：姫井雅夫

印刷：新生宣教団(500部)